

東京農工大学 大学院農学研究院  
農業環境工学部門 助教（テニュアトラック） 募集要項

1. 公募の概要

東京農工大学大学院農学研究院・農学部では、本研究院・農学部のテニュアトラック制度に基づき、任期5年の助教（テニュアトラック）を公募いたします。

本制度は、若手研究者を任期付きで雇用し、将来にわたり活躍できる農学研究院・農学部の教育職員として育成するものです。任期中に研究と教育を推進する経験を重ねた後に、教育職員としての適性について公正・厳格な審査を行い、本学准教授（講師を含む）のテニュア（任期の定めのない常時勤務を要する教育職員としての身分）を取得させることを目的としています。

採用された若手研究者は、原則として独立した研究室の使用が認められ、研究の立ち上げのスタートアップ資金やメンターの配置等の援助が受けられます。また学部授業および会議などの業務が常勤教育職員より一部軽減されます。大学院の担当については、別途資格を判定して認定されます。任期3年目と5年目にテニュア付与審査を実施し、テニュアトラック期間内に所定の業績を上げたと評価された場合は、任期の定めのない常勤の教育職員としての身分（テニュア）として本学の准教授または講師に採用する予定です。

なお、テニュア付与審査の方法と基準の概要については、別紙（「農学研究院テニュア付与審査方法・基準の概要」）を参照してください。

2. 募集職名 助教（テニュアトラック）（1名）

3. 所属先 農学研究院 農業環境工学部門

4. 兼務先 農学府農学専攻食農情報工学プログラム（大学院修士課程）  
農学部地域生態システム学科

5. 専門分野

農学研究院農業環境工学部門においては、SDGs の目標である世界の貧困や飢饉等の課題解決や、地球規模の気候変動への適応に向け、農業におけるイノベーション創出、および、強靱かつ持続的な農業に不可欠な安心・安全な農業生産・流通技術やポストハーベスト技術の開発・推進を目指した研究・教育に取り組んでいます。そのために、農業生産・生産管理技術の高度化、農作業の自動化・安全性向上、情報技術の応用、農産物の調製や加工技術の高度化など社会の需要に向け多様な研究を進めています。本公募では、農業生産・流通・管理技術に係る工学的研究を礎とし、国内外の地域固有の課題から地球規模の課題まで幅広く興味を持ち、農業環境工学分野での研究遂行能力に長け、持続的な農業ならびに農村社会の実現に貢献しうる人材育成に意欲をもって取り組んでいただける教員を公募します。

## 6. 応募資格

- ・博士の学位を有すること、または着任時まで取得の見込みがあること。
- ・熱意をもって大学院生・学部生に対する教育・研究指導を遂行できること。
- ・学内業務や社会貢献を積極的に担い、リーダーシップを発揮できること。
- ・国際的視野（英語活用能力）を有すること。
- ・国籍は問わない。ただし、日本語での授業が可能なこと。

## 7. 担当予定科目

以下に示す共通科目の一部に加えて、本人の専門性を考慮した専門科目についても一部担当をしていただきます。

学 部：農業環境工学演習、農業環境工学実習、農業環境工学実験、物理学、地域生態システム学Ⅰ～Ⅲ（分担）、地域生態システム学実習Ⅰ・Ⅱ（分担）、地域生態システム学セミナー（分担）、地域生態システム学特別演習Ⅰ～Ⅲ、卒業論文等。  
大学院：食農情報工学概論Ⅰ（分担）、農学特別研究Ⅰ～Ⅳ、農学展開研究Ⅰ～Ⅳ、農学特別演習Ⅰ・Ⅱ、論文レビュー特別演習Ⅰ・Ⅱ等。

## 8. 採用予定日

2022年4月1日以降のなるべく早い時期

## 9. 勤務条件等

- 1) 給与 年俸制，経歴・職位・職務内容に応じて、本学の規程により決定（賞与および各種手当あり）
- 2) 勤務 裁量労働制（7時間45分/日）
- 3) 勤務地 東京農工大学 府中キャンパス
- 4) 任期 あり（テニュア審査の結果により任期なしへ転換）

## 10. 提出書類

以下の提出書類をPDFファイルとして書類提出先Eメールアドレスへ電子メールで提出してください(最大ファイル容量 10 MB)。ファイル容量が超過する場合は、送付前に問合せ先に連絡をしてください。

- ①履歴書（書式自由。ただし写真添付のこと。連絡先として、Eメールアドレスを明記のうえ、高校卒業以後の学歴・留学籍・職歴などを記すこと）
- ②研究・教育業績リスト（1部）
  - ・様式は任意。原著論文（査読の有無を明記）、総説、著書、国内外シンポジウム等発表（招待講演の有無を明記）などに分けて記載。
  - ・所属学会・役員、教育実績、社会貢献活動、受賞、などについても記載。

- ③主要業績5点まで (PDF)
- ④③の各業績についての要旨 (400字程度)
- ⑤これまでの研究概要と着任後の研究計画 (A4 2枚以内)
- ⑥これまでの教育経験と着任後の教育に関する抱負 (A4 1枚以内)
- ⑦応募者に関する所見を伺える方2名についての情報 (氏名, 所属, 連絡先電話番号, E-mail アドレスなど) (書式任意)

#### 1 1. 応募締め切り

**2022年1月7日(金)午後5時**

#### 1 2. 選考方法

書類選考後、面接を経て決定します (コロナ感染状況によってはオンライン面接を実施)。対面で面接を実施する場合、面接の際に要する費用等は応募者の負担となりますので、あらかじめご了承ください。また、書類審査および面接選考結果の通知を含めて、選考に関する連絡は原則、電子メールで行います。

#### 1 3. 問い合わせ先・応募書類の提出先

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学大学院農学研究院  
農業環境工学部門助教 (テニユアトラック) 選考委員会委員長 斎藤広隆  
Eメール: hiros<at>cc.tuat.ac.jp (<at>を@と置き換えてください)

※メール送信時には、件名に「農業環境工学部門教員応募について」と記載してください。

#### ※男女共同参画の積極的推進

東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。

[http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/danjo\\_new/index.html](http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/danjo_new/index.html) (別ウィンドウで開きます)

(詳細)東京農工大学男女共同参画推進室 HP

## 農学研究院テニユア付与審査方法・基準の概要

1. テニユア付与審査は、テニユア付与審査委員会（以下「審査委員会」という）において行う。
2. テニユアトラック教員は、当該部門等と合議の上、着任後速やかに研究計画を審査委員会に提出する。
3. 採用後6ヶ月以内に審査委員会が、評価基準をテニユアトラック教員に通知する。
4. テニユアトラック教員のテニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の3年目及び5年目に行う。
5. テニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の実績、研究計画書、テニユアトラック教員による自己評価書、前歴の業績も含めた履歴および教育研究業績一覧、研究業績にかかる別刷り及び今後の抱負を含む成果発表（質疑を含む）を通じて実施する。
6. 前項の審議においては、テニユア付与審査委員会が承認した外部評価委員から書面等の方法により、当該テニユアトラック教員の本研究院・学部の審査対象職位のテニユア教員としての適格性についての評価意見を求めた上で、テニユア付与の適否を判定する。
7. 出産・育児休暇等による評価対象期間の短縮とそれに伴う評価基準の見直し及びテニユア付与審査時期の調整を行うことができる。
8. 審査結果への審査対象者本人からの一定期間内の異議申し立てを認める。